

OTA連携

OTAごとに、Dawnlightでできること

Dawnlight Hotel OS がつながる8つのOTAについて、どの項目が自動で連携し、どの項目を各OTAの管理画面で設定するかをまとめました。導入前の検討にお使いください。

○ Dawnlightで自動連携 △ 一部のみ・条件あり — 各OTAの管理画面で操作

OTA	在庫	料金	最低・最大 宿泊日数	新規予約	予約変更	キャンセル	ゲスト メッセージ	施設情報 ・写真
高度連携								
Booking.com	○	○	○	○	○	○	○	○※1
Airbnb	○	○	○	○	○	○	○	○
Expedia	○	○	○	○	○	○	○	△
標準連携								
Agoda	○	○	○	○	○	○	—	—
Trip.com	○	○	○	○	—	○	—	—
国内OTA連携								
楽天トラベル	○	○	—	○	△※2	△※2	—	—
じゃらん	○	○	—	○	△※2	△※2	—	—
一休.com・Yahoo!トラ ベル	○	○	—	○	△※2	△※2	—	—

※1 交通案内、エキストラベッド、デポジットなど一部の項目は、Booking.comの管理画面で設定します。

※2 お客様自身がOTA上で行った変更・キャンセルは自動で反映されます。宿がOTAの管理画面で変更・キャンセルした予約は反映されないため、Dawnlightにも同じ変更を入れます。

2026年9月時点の情報です。各OTAの仕様変更により、連携できる範囲が変わることがあります。

導入前に知っておいていただきたいこと

Booking.com・Airbnb・Expedia

- 連携した時点で、今後の予約をまとめてDawnlightに取り込みます。
- Airbnbは公式のAPI連携です。つないだリスティングではスマートプライシングは使えず、料金はDawnlightで決めます。Airbnbのカレンダーで手動でブロックした日はDawnlightに戻らないので、ブロックもDawnlightで行います。
- Expediaの施設情報・写真はExpediaの管理画面で設定します。キャンセル料の情報は取り込まれないので、通知を確認して処理します。

Agoda・Trip.com

- 連携前に入っていた予約は、導入のときに一緒にDawnlightへ移します。
- Trip.comの予約変更は取り込まれません。新規予約とキャンセルは自動で取り込まれます。変更の通知が届いたら、Dawnlightにも同じ変更を入れます。
- ゲストとのメッセージ、施設情報・写真は各OTAの管理画面で行います。

楽天トラベル・じゃらん・一休.com・Yahoo!トラベル

- 在庫と料金は通常50秒ほどで送られます。料金の設定方法やプランの期間延長によっては最大6時間ほどかかり、その場合は手動ですぐに送り直せます。在庫は1年先まで送られます。
- 料金は各OTAのプラン料金として送られます。プランの作成と販売期間の延長、最低・最大宿泊日数、チェックイン・チェックアウト不可日、子供料金は各OTAの管理画面で設定します。
- 連携前に入っていた予約は、導入のときに一緒にDawnlightへ移します。
- じゃらんのパスワードは、およそ180日ごとに変更が必要です。変更したら、Dawnlightの連携設定にも新しいパスワードを入れてください。予約通知のメールアドレスは変更しないでください。どちらも、連携が止まる原因になります。

お使いのOTAで、実際の動きをお見せします

お使いのOTAと部屋タイプの数をお知らせください。30分のオンラインデモ（無料）で、実際の画面をお見せします。

www.dawnlight.co.jp/contact ・ info@dawnlight.co.jp ・ hotel.dawnlight.co.jp/ja/ota